

## 16. 助詞

- 1) 日本語のいわゆる助詞は、いわゆる助動詞とともに文の骨格をなす重要な語類である。
- 2) いわゆる助詞には、文末詞（終助詞など）・格助詞・並列助詞・形式副詞（副助詞・接続助詞など）・とりたて詞（係助詞・副助詞など）などがある。「助詞」という語類をたてる必要があるかについての議論もあるし（奥津他『いわゆる日本語助詞の研究』参照）、日本語教育の場ではこのような品詞分類やその名付けなどを直接に教える必要はない。要は個々の助詞を使いこなせるように実践的に教えればよい。
- 3) この項では初級段階に出てくると考えられる助詞——といってもほとんどの助詞であるが——の基本的な用法にしぼって述べる。

### [ 3 ] 連体助詞

連体助詞の「の」を格助詞とする説もあるが、その名のとおり体言に連なる助詞として連体助詞というべきであろう。

頻度の高い助詞で、普通は名詞について名詞を修飾する NのN という型になる。二つの名詞の意味関係は所有関係をはじめ種々あって複雑である。

- ① これは 私の 本です。
- ② 日本語の 本を 読んでいます。
- ③ あそこに 男の 人が います。

しかし格助詞に後続し「NC のN」型(Cは格助詞)をなすものもある。

- ④ ジャカルタ へ の 旅行
- ⑤ オーストラリア から の お客さん
- ⑥ ジェニー と の デート

これについてはさらに17「助詞の複合」の[3]「格助詞と連体助詞の複合」で述べる。

また「だ」の連体形と解釈すべき場合もあるので、注意を要する。

#### ⑦ 医者の おじさん

には a) 医者であるおじさん b) 医者の親の男のきょうだいという二つの意味がある。前者は「だ」と解釈すべきであろう。

### [4] 並列助詞

並立助詞とも言う。まず複数の名詞を並列する「と」「か」「や」などがある。

- ① マッチと灰皿(と)を ください。
- ② 京都と奈良と倉敷(と)へ 行きました。
- ③ コーヒーか紅茶(か)を 飲みましょう。
- ④ 本やノートやペンなどを 買いました。

名詞以外に文を並列する「て」「たり」「し」「が」「けれど」などがある。

- ⑤ 田中先生は やさしくて, きれいです。
- ⑥ 朝6時におきて, 顔を洗って, コーヒーを 飲みます。
- ⑦ この人は 日本人で, その人は 中国人です。

⑦の「で」は「だ」のて-形, つまり「であって」と同じ働きと解釈したい。

- ⑧ あの店の 料理は おいしかったり, まずかったりします。
- ⑨ 日曜日には 公園を 散歩したり, 買い物したりします。
- ⑩ 曇りだったり, 雨だったり, 天気が あまりよくありませ  
ん。
- ⑪ あの料理屋は おいしいし, 安いし, また 行きましょう。